

平成13年11月29日 / 社会保障審議会人口部会

報告者: 中央大学経済学部助教授 和田 光平

少子化の見通しに関する専門家調査 速報結果について

厚生科学研究

「少子化に関する家族・労働政策の影響と
少子化の見通しに関する研究」

結婚・出生力の社会経済モデル班

(分担研究者: 大淵 寛中央大学教授)

【 調査の概要】

1. 調査の目的

- 少子化問題に詳しい専門家を対象として、我が国における少子化、高齢化、人口減少による**経済・社会への影響の見通し**や、**対策の有効性**や**必要性の認識**を把握し、もって人口の将来予測や少子化に関わる施策や**予測**の方向付けの指針とすることを目的としています。

【 1. 調査の概要】

2. 調査時期・調査方法・調査対象

- < 調査時期 > 平成13年7月16日(月)～8月24日(金)
- < 調査方法 > 郵送による配布・回収
- < 調査対象 >

人口学、経済学、家族社会学、公衆衛生学を中心とした専門家を対象として少子化研究会のメンバーが対象候補者を抽出し、回答者の偏りや不足等について検討を加えた上で、748名を対象として調査を実施した。

- < 調査票の回収状況 >
 - アンケート発送数 748票
 - 有効回答数 329票
 - 有効回収率 44.0%

【 調査の概要】

3. 調査主体

- 少子化研究会メンバー：**厚生労働省の政策科学研究推進事業**(平成11年～平成13年)「少子化に関する家族・労働政策の影響と少子化の見通しに関する研究」社会経済モデル班(代表：中央大学教授 大淵寛)を中心とした下記の5名
- 大淵 寛(中央大学経済学部教授)
- 兼清弘之(明治大学政治経済学部教授)
- 安蔵伸治(明治大学政治経済学部教授)
- 坂井博通(埼玉県立大学保健医療福祉学部教授)
- 和田光平(中央大学経済学部助教授)

調査実施機関：(株)アジュール

【調査の概要】

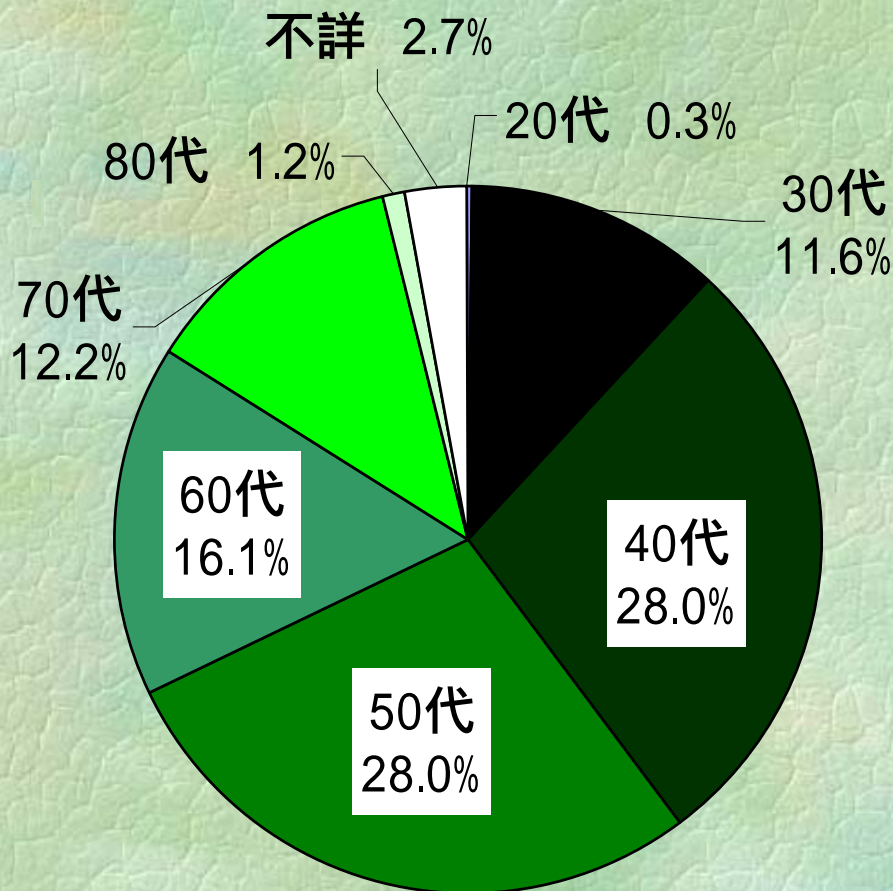
4. 回答者の基本属性 性別

男	251	76.3%
女	73	22.2%
不詳	5	1.5%
合計	329	100.0%

年齢

平均	53.8歳
中央値	50歳
最頻値	45歳

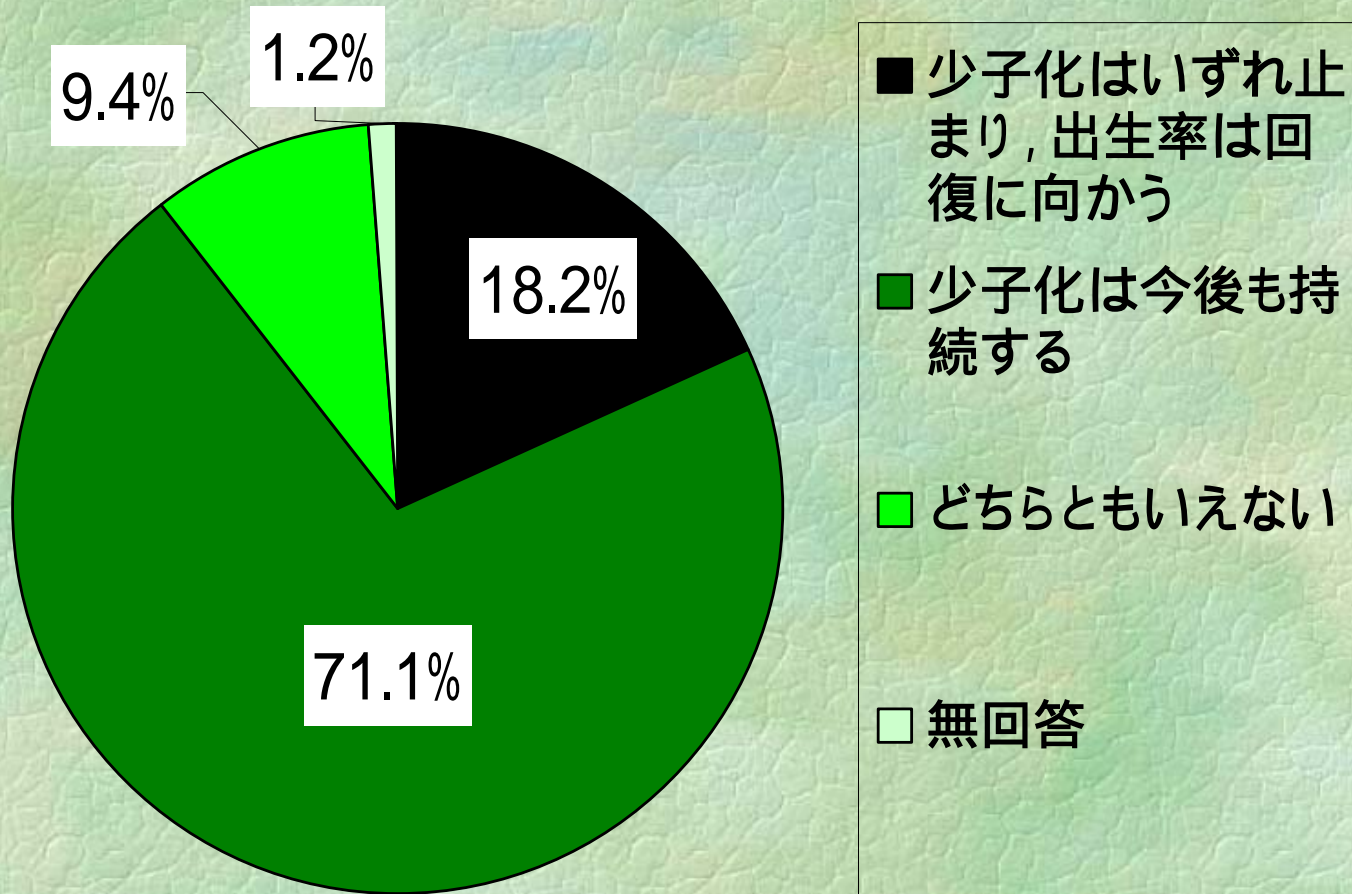
調査対象の年齢分布



【 . 少子化の今後の趨勢】

- 7割が「少子化の傾向は持続する」とみている

図 1



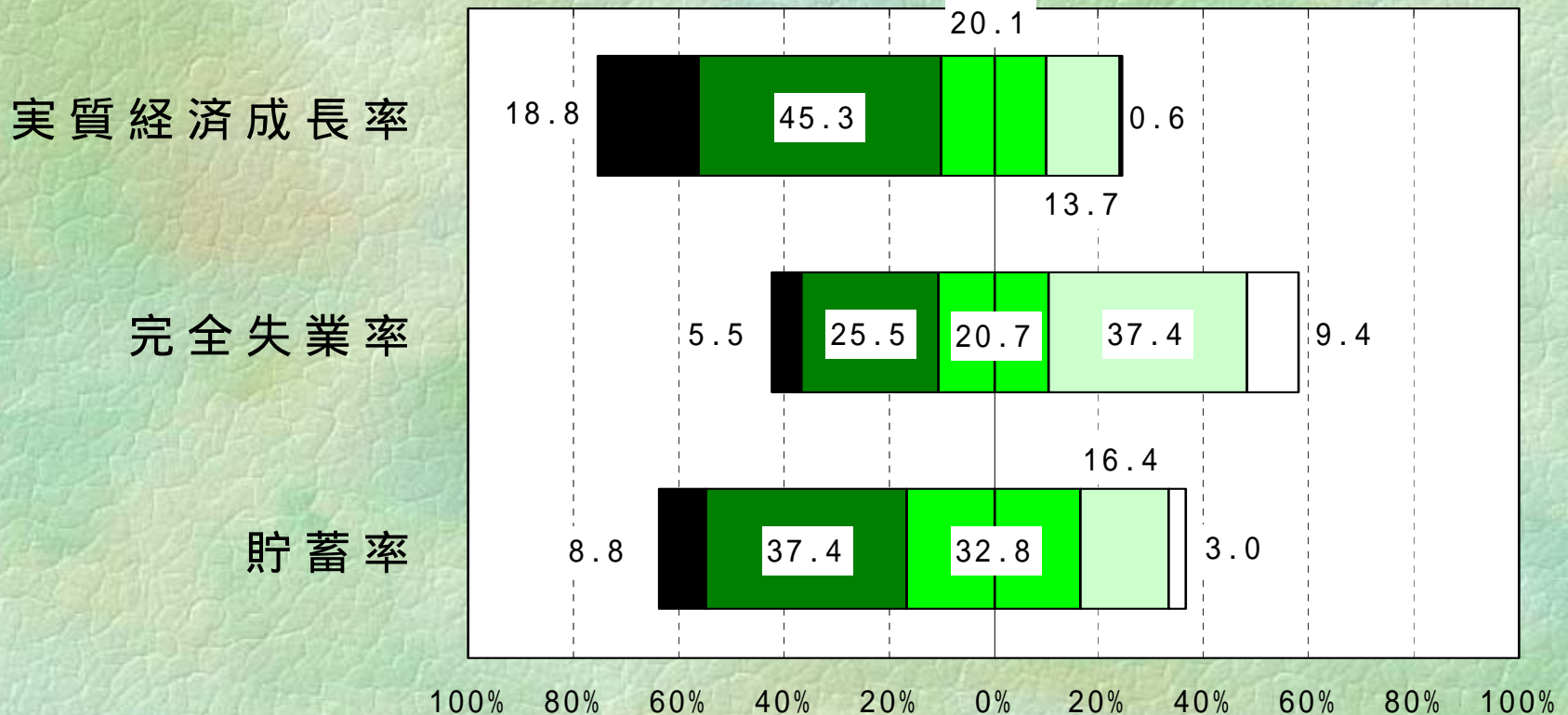
【 Ⅰ . 今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

1 . 経済状況・社会環境

- 景気動向は悲観的、女性の就業は今後も進むとの見通し

図 - 1 経済環境の将来見通し

低下 ← → 上昇



【 . 今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

図 - 2 労働環境の将来見通し

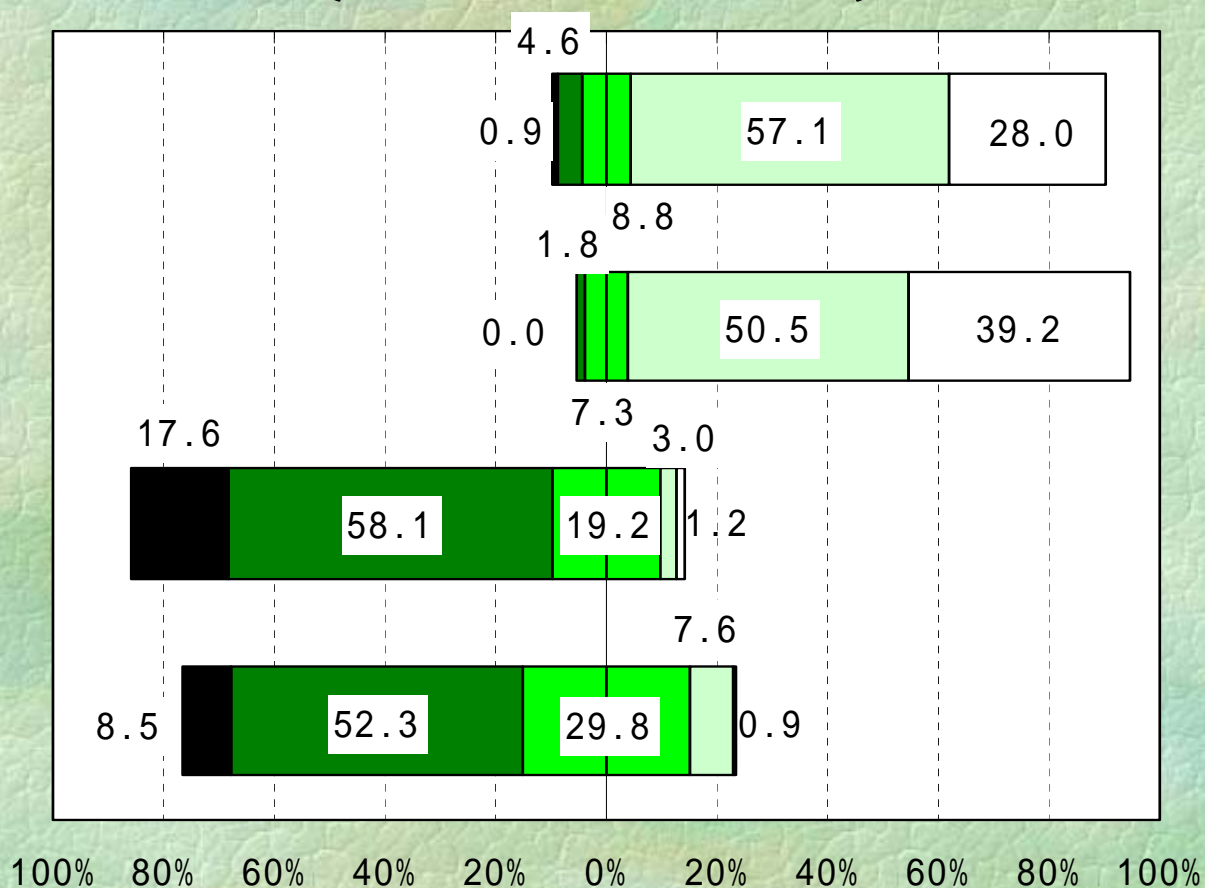


育児期間もフルタイムで働く女性

非正規就業の女性

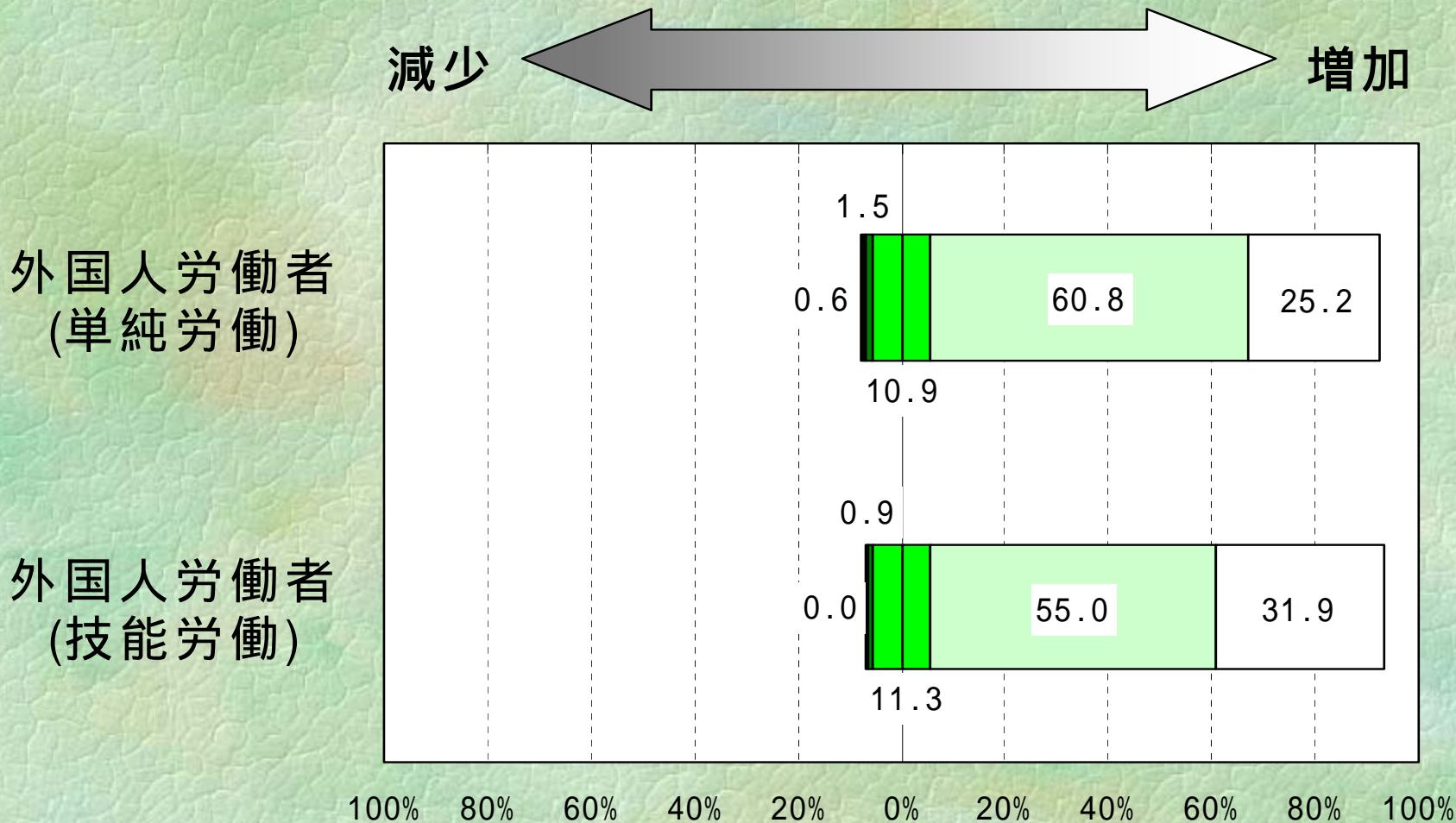
男女賃金格差

労働時間



【 . 今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

図 - 3 外国人労働者受入れの将来見通し

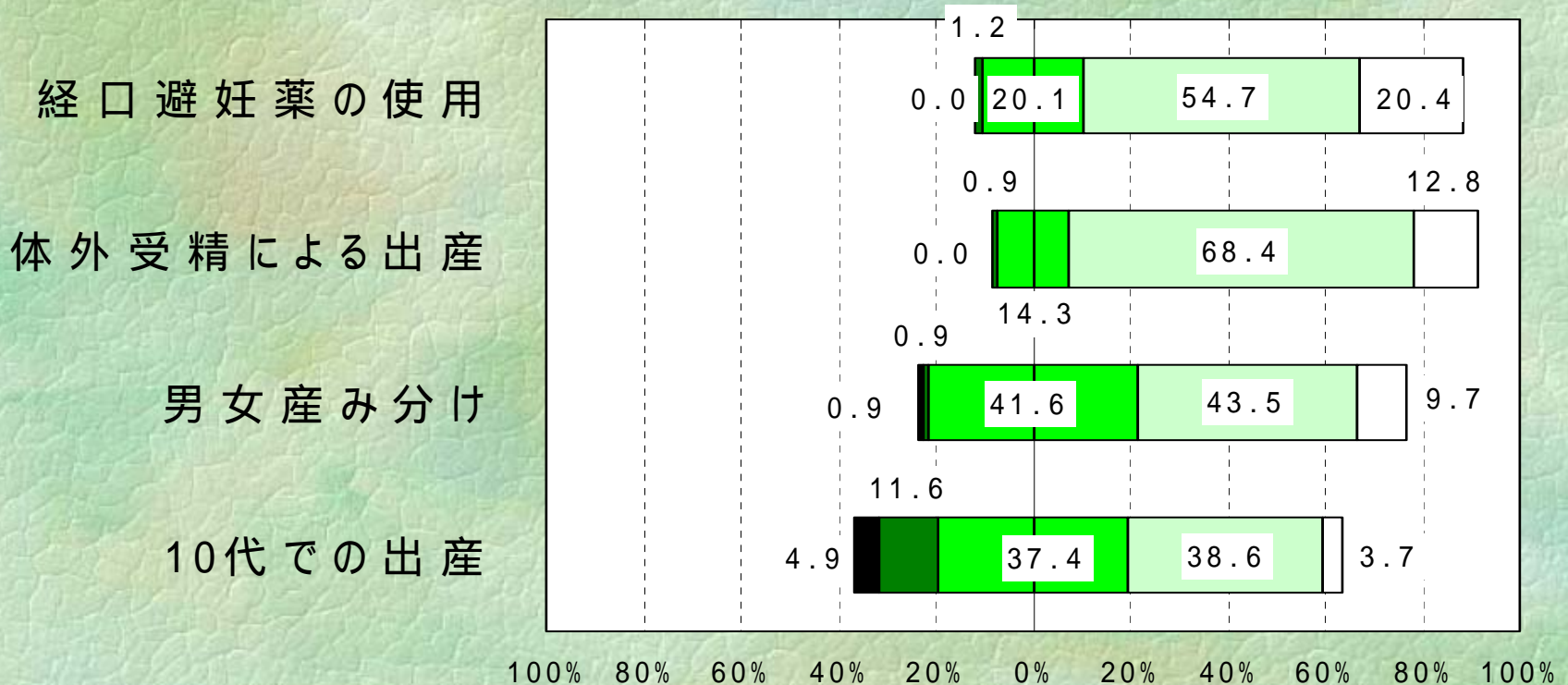
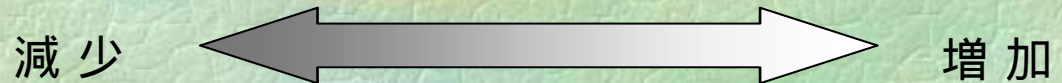


【 . 今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

2 . 性・生殖をめぐる環境

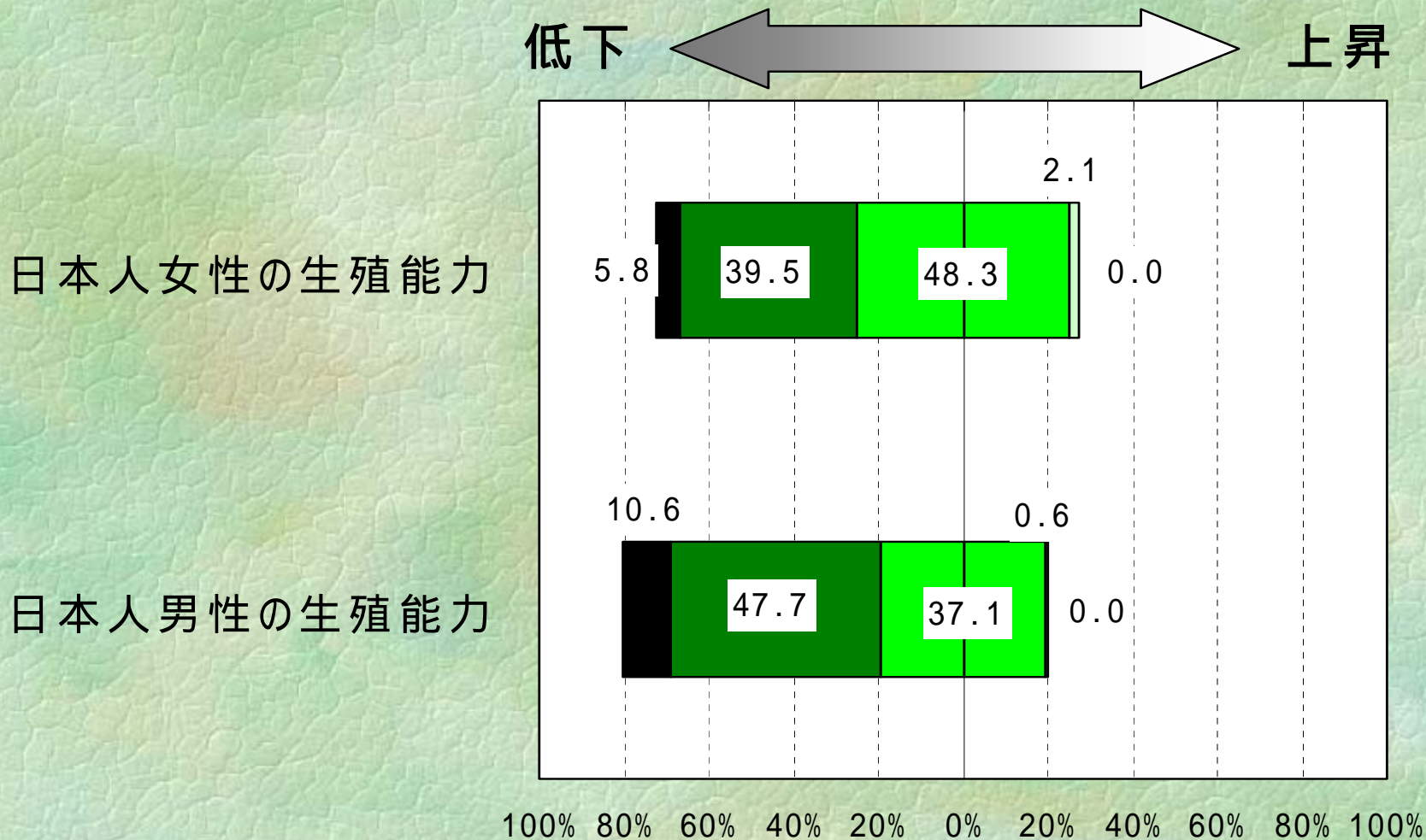
- **ピルの使用、体外受精による出産は増加の見通し**

図 - 4 生殖に関する将来見通し



【 . 今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

図 - 5 生殖能力の将来見通し

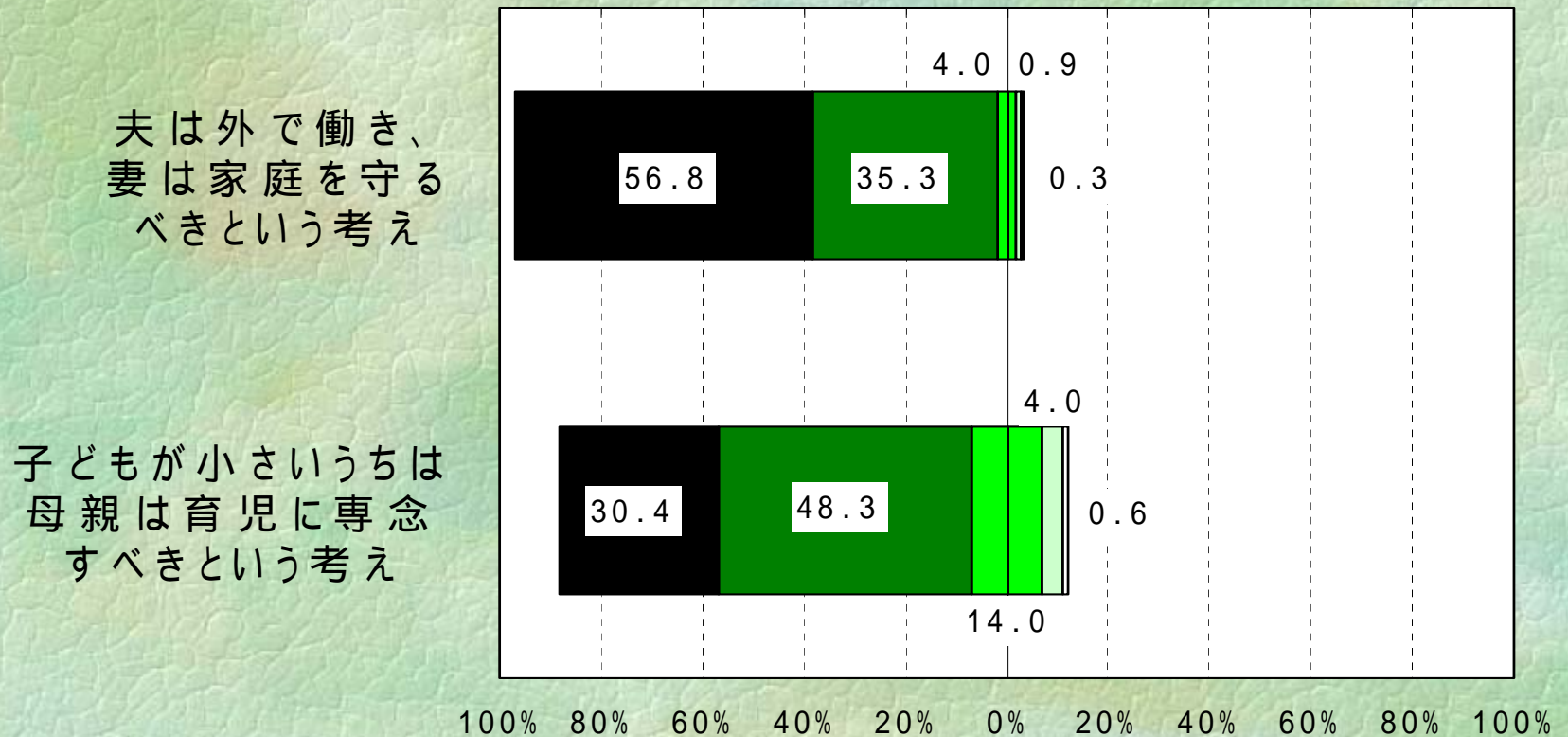


【 ．今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

3．家族規範

- 伝統的な家族規範は全般的に弱まるとの見通し

図 - 6 家族規範の将来見通し



【 . 今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

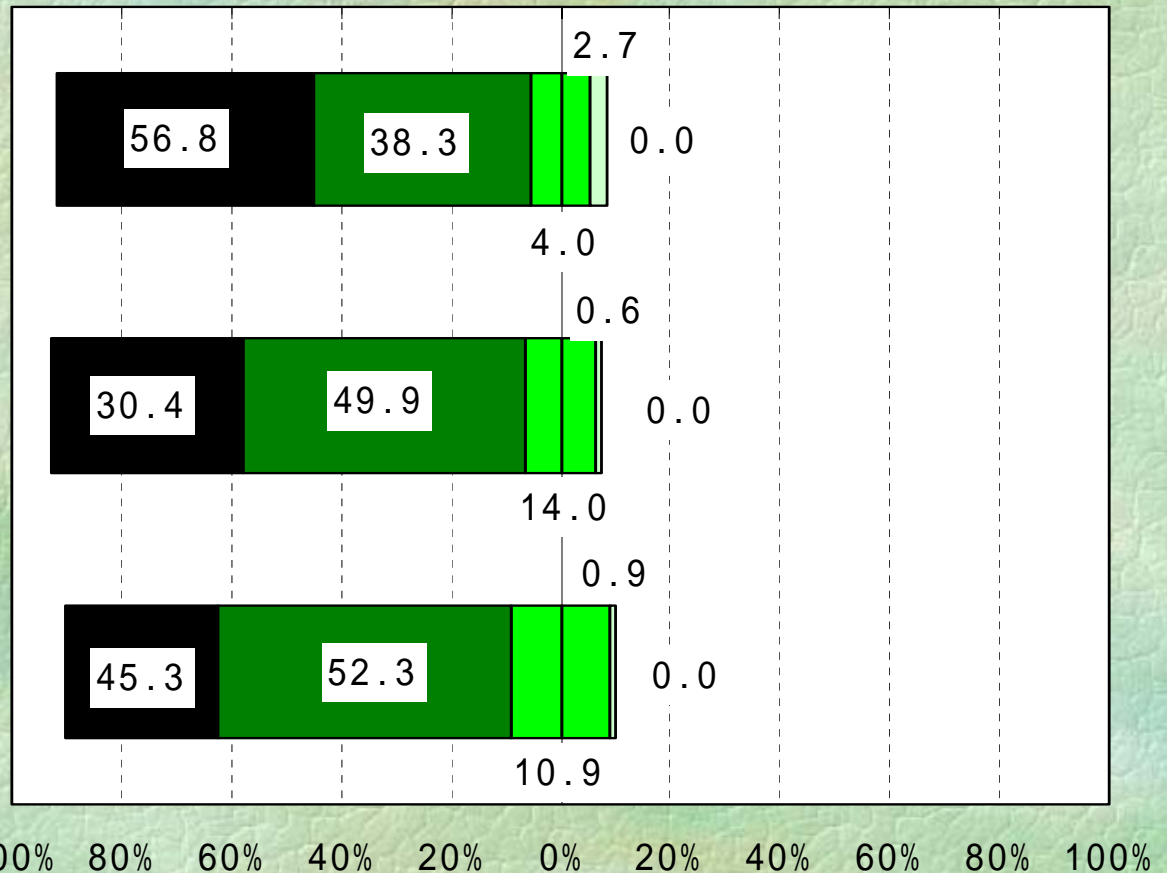
図 - 6 家族規範の将来見通し

弱まる ← → 強まる

年をとった親は
子どもが面倒を
みるべきという考え

男女が一緒に
暮らすなら結婚
すべきという考え

子どもは法的に結婚
した夫婦の間で生ま
れるべきという考え



【 ．今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

4 ．家族形成の状況

- 離婚の増加、女性の晩婚化、晩産化、無子化が進むとの見通し

図 - 7 結婚の将来見通し

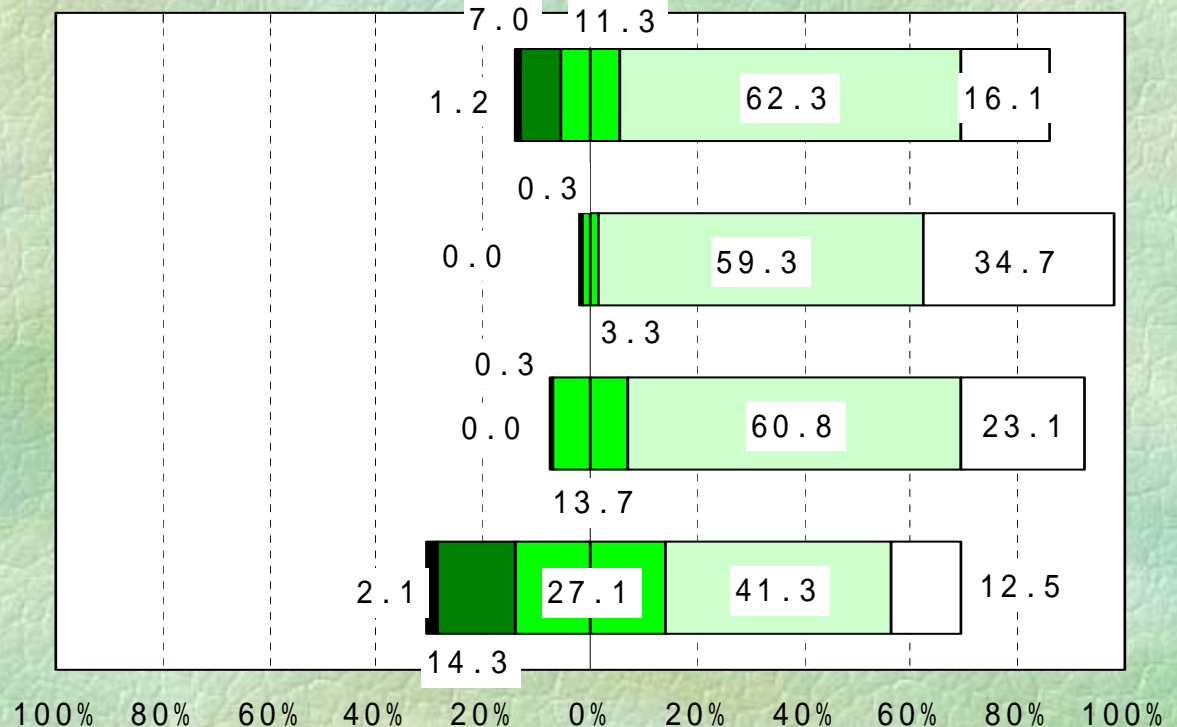


30～34歳の
女性の未婚率

離婚率

同棲の割合

未婚者のうち親元で
暮らす者の割合



【 . 今後25年間の経済状況・社会状況の見通し】

図 - 8 子どもをめぐる将来見通し

低下・
減少

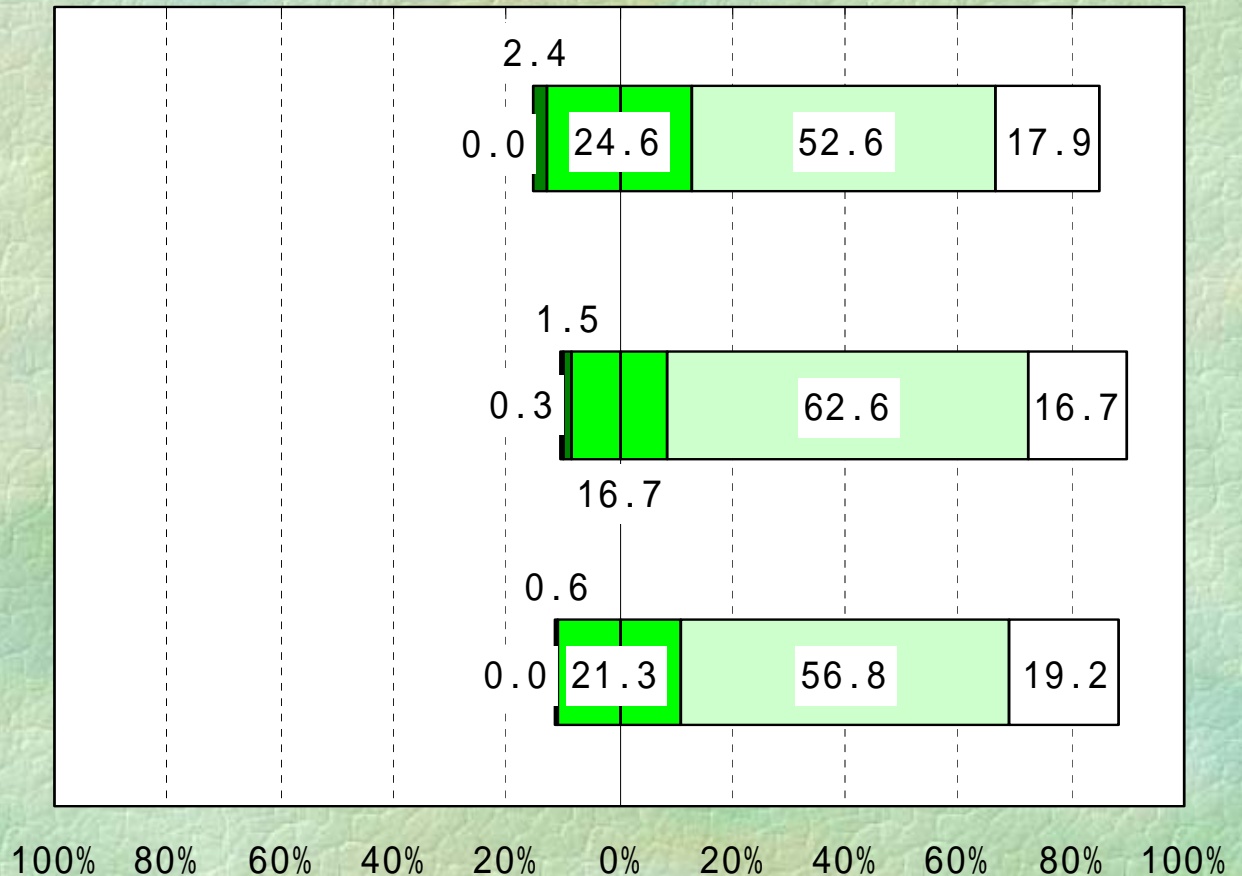


上昇・
増加

子どもを持たない
夫婦の割合

第1子出産年齢が
35歳以上の割合

婚外子の割合



【 1 . 人口指標の今後の動向】

表 - 1

1985年生まれの女子コーホート	平均値	標準偏差	有効数
平均初婚年齢	28.2人	1.16	318
生涯未婚率	15.8%	3.76	318
完結出生児数	1.76人	0.25	318

2050年時点の平均寿命	平均値	標準偏差	有効数
男性	79.3年	2.59	317
女性	86.1年	2.48	317

【 ． 人口指標の今後の動向】

■ 平均初婚年齢

1985年生まれの女性(現在15～16歳)について、平均値は**28.2歳**、晩婚化は進むとの見通し

■ 生涯未婚率

1985年生まれの女性について、平均値は**15.8%**、生涯未婚率は今後も上昇するとの見通し

■ 夫婦の完結出生児数

1985年生まれの女性について、平均値は**1.76人**、少子化は今後も進むとの見通し

【 ． 人口指標の今後の動向】

2050年における男女の平均寿命

- *男子の平均寿命*

平均値は**79.3歳**、寿命の伸びは止まるとの見通し

- *女子の平均寿命*

平均値は**86.1歳**、寿命の伸びは止まるとの見通し